

第2回寒川地区学校再編計画地域協議会 会議録

日 時：平成19年11月9日（金）19：30～21：25

場 所：寒川農業構造改善センター 農事研修室

参加者：委員12名（欠席者4名）

事務局：教育長、教育部長、教育総務課長、学校教育課長、担当職員5名

傍聴人：なし

（内容）

1．会議及び会議結果の公開・非公開について

出席委員全員の賛成により公開とする。

2．議題

（1）さぬき市学校再編計画地域連絡協議会への委員選出について

以下の3名を選任する。

会長 山坂 弘

副会長 新川浩二

委員 日向和加子

（2）ぬき市学校再編計画（案）について

事務局より、再編計画（案）の策定経緯、学校の現状、学校の適正規模について説明。

（3）質疑応答

（委員）この協議会で学校の建設場所までを決めるのか。

（事務局）建設場所までは、結論が出ないと思うが、来年の3月末までには、再編の方向性を取りまとめたい。建設場所は、それ以降の具体的な協議で決めていきたい。

（委員）再編になると通学のためのスクールバスやコミュニティーバスを利用した通学手段が必要になると思う。現在の状況は。また、バスの集合時間に間に合わなかった場合は。

（事務局）例えば、南川の児童の通学は、登校時1便・下校時は2便、マイクロバスで送迎をしている。乗車時の人数は、運転手が確認をし、遅れている児童には、出発前に連絡確認をしている。

(委員)この協議会は再編が前提なのか。いろんな意見を聞くのも大切であると思うが。
(事務局)PTA や地域の意見を参考にしながら進めていきたい。

(委員)再編をしない場合でも、施設の耐震対策や教員の確保はしてくれるのか。
(事務局)再編をしない場合でも、施設の耐震化は進めていかなければならない。ただし、
教員の数は、クラス数により決まっている。

(委員)新たに土地を確保して建設をすれば、莫大な資金が必要。資金的には大丈夫か。
(事務局)教育については、できる限りの投資が必要である。短期間での事業完了は難しいが、
方向性が出れば財政面での年次計画を策定し進めて行く。

(委員)PTA への会議の情報提供が欲しい。また、他市の事例を教えてもらいたい。
(事務局)了解。

(委員)再編は時代の流れ。現実的に考えれば再編になると思うが、小学校の再編の時期は決めているのか。
(事務局)明確には決めていない。来年の3月までには、建設計画も含めて再編の時期を示したいと考えている。

(委員)この協議会の意見が再編を決定するのか。PTA や地域の意見を聞きながら進めたいが。
(事務局)協議会を進めて行く中で、広く意見を聞くことも大事であるとする。今後、協議のなかで具体策を考えていきたい。

(委員)少人数では競争心も養えない。ある程度まとまった人数で施設も整った環境で教育をお願いしたい。
また、中学校は、学力の向上は当然ながらクラブ活動も重視している。天王中学校は、クラブ活動でも好成績を挙げている。クラブ活動の充実のためにも再編を望む。(委員からの要望)

(委員)通学の安全性が心配である。現在、他の学校では登下校時にボランティアがいるが。寒川地区の場合はどうか。
(事務局)全ての校区に配置されている。ただし、地区(自治会)により少ない場合もある。

(委員)再編は反対である。学校と地域の連帯感がなくなる。また、再編に伴い莫大な資金が必要である。それは借金となり将来、子供達への負担となる。再編は、若者が都会へ流れる原因となる。

(事務局)学校の再編は、50年先・100年先を見て欲しい。10年先を考えれば今と変わらないかもしれない。しかし、50年100年先は、今よりは減少する。

(4) 次回の日程について

開催日時：平成19年12月7日(金)19時30分から

場 所：寒川農村環境改善センター

議 題：「小学校の再編について」